

平成14年度第1回国土技術政策総合研究所研究評価委員会

港湾空港分科会報告

1. 評価結果

本評価結果は、平成14年度第1回国土技術政策総合研究所研究評価委員会港湾空港分科会における審議に基づきとりまとめたものである。

平成14年6月3日

国土技術政策総合研究所研究評価委員会港湾空港分科会
分科会長 森杉壽芳

「地域の価値向上のためのゲートウェイ空間整備手法に関する研究」の評価結果

【総合評価】

本研究課題は、国土交通行政の一つである「美しく良好な環境の保全と創造」を実現するための、極めて重要なテーマであると認められるので、重点的に実施されるべきと評価する。

【研究を実施するにあたっての留意事項】

本研究においては、社会資本整備や景観工学的アプローチだけにとらわれず、国総研という立場を活かし、他分野の人たちを交えた広い観点からの研究と連携して研究を進めていくことが重要である。

また、整備手法については、具体的な整備にどのように結び付けていくのかという点に関してもっと強化が必要であり、さらに研究のアウトプットである方法論が地域への押し付けとならないよう注意することも必要である。

なお、研究を進めるにあたっては、以下の点について整理しておく必要がある。

- ・多面的な価値をどう総合的に評価するか。
- ・地域における価値判断・意志決定過程において本研究成果はどのように位置づけられるか。

2. 評価結果に対する対応方針

評価結果を踏まえ、研究のアウトプットである整備手法の検討にあたっては、実行可能性に留意するとともに、分かりやすいアウトプットを目指す。さらに、地域への押し付けとならないよう留意する。また、研究の遂行にあたっては、他分野の研究者と連携しつつ幅広い観点から実施する。

その他、ご指摘頂いた意見については、十分、念頭においた上で研究を進めて参りたい。